

基本理念

重点目標

活動計画

「このまちに暮らし集う みんなでつくる みんなのための 公民館」

東林公民館の4つのあい

1 であい

○このまちのみんなが気軽に知り合える、出会いの場になります。

- 1.子育て世代や成年層などの参加が増えるよう、幅広い層を対象とした事業を実施します。(文)
- 2.幅広い年齢層で誰もが気軽に楽しめるスポーツの普及と進展を図ります。(ス)
- 3.学校等との連携を深め、より効果的な青少年事業を実施します。(青)
- 4.中・高校生等のニーズを探り、事業に反映させることにより、公民館活動への参加を促進します。(青)
- 5.館報とうりん、ホームページなどを活用し、それぞれの特性を生かしながら公民館の活動を魅力的、効果的に発信していきます。(広)
- 6.図書館オンラインシステムの充実に伴い、地域の情報提供の拠点として利用者サービスの向上に努めます。(図)
- 7.利用のルールやマナーを理解してもらい、公民館施設が快適に使用されるよう配慮します。(サ)
- 8.事業のあり方として参加者相互の交流を深め、仲間づくりにつながるよう配慮していきます。(文)(ス)

2 ふれあい

○このまちのみんなが楽しく交流できる、ふれあいの場になります。

- 1.地区体育祭など地域に根ざしたスポーツ・レクリエーション活動を充実し、地域の「であい」と「ふれあい」を深めていきます。また、健康づくり、体力づくりの機会となる場を提供し、地域住民の健康の維持増進を図ります。(ス)
- 2.地域の伝統文化、自然環境などに関する学習機会や体験活動の充実に努め、社会参加のきっかけづくりを推進します。(青)
- 3.広く地域にアンテナを張り、まちの声に耳を傾け、情報の収集や提供に心がけ、公民館のあり方や機能を地域の皆さんと考えていきます。(広)
- 4.地域の方々の要望、当図書室の貸出状況などからニーズを把握し、図書の充実を図ります。(図)

3 まなびあい

○このまちの思いをみんなでかたちにできる、学びあいの場になります。

- 1.生活課題や地域のニーズを踏まえ、よりよい地域となるよう、ともに学び合える事業を展開します。(文)
- 2.地域の伝統文化や歴史、また自然環境等について学びあい、その成果を次世代に継承する事業を大切にします。(文)
- 3.異文化について考え、幅広い視野をもち、共に学びあえる事業を展開します。(文)
- 4.公民館利用サークルや地域のスポーツ関連団体と連携し、公民館事業を地域に広めていきます。(ス)
- 5.親と子、高齢者と青少年との交流を深め、「ふれあい」「まなびあい」を図る事業を提供します。(青)
- 6.広報の担い手や地域の仲間づくりができるよう、文章の書き方などをテーマにした参加型の事業を実施します。(広)
- 7.図書室と連携した公民館事業の周知方法を検討します。(図)
- 8.公民館内では各サークルについて市民からの照会に対応し、活動推進を図るとともに、文化祭などのサークルが主体となって行う発表の機会を設けることにより、活動の活性化や交流の促進を図ります。(サ)

4 たかめあい

○このまちの知識をみんなで共有できる、高めあいの場になります。

- 1.サークル活動などで公民館を利用している地域の方々に公民館事業への参加を促し、講師や実行委員、ボランティアなどとして人材の活用を図ります。(文)
- 2.青少年の積極的な参画による事業を実施し、主体的な活動を支援するとともに、その意欲の継続を図っていきます。(青)
- 3.地域の青少年団体に協力・支援し、より自主的な活動を促すように関わります。(青)
- 4.広報により収集した地域の方々の知識等の活用を図り、住民相互の交流を深め、「たかめあう」ものとして推進していきます。(広)
- 5.誰もが学びあい、高めあえる環境を提供できるように、利用団体・サークルとの連携を進めます。(サ)

凡例：文＝文化活動、ス＝スポーツ活動、青＝青少年活動、広＝広報活動、図＝図書室活動、サ＝サークル活動